

はばたき

橋北小学校
学校だより
No.33
H30. 2. 2

2月に入りました。大変寒い日が続いています。市内ではインフルエンザがかなり流行し、学級閉鎖も増えております。今後ともお子さんの体調管理をお願いいたします。

さて、今日の2限目に大なわチャレンジ集会がありました。結果は、昨年度の記録を上回り目標達成！！子どもたちのがんばりに拍手です。詳細は次号で。

◆スマートフォン・携帯電話の安全な使い方のために

1月19日（金）に、NTTドコモの方にお越しいただき、6年生がスマートフォンや携帯電話の安全な使い方を学びました。

スマホは、生活に便利なものではありませんが、インターネットにつながっているため、使い方等を間違えると大きなトラブルに巻き込まれるおそれがあります。自分の情報を載せることは、世界中の人に自分のことを教えているようなもので、一度載せた情報は簡単にコピーができるしくみです。そのため、姿の見えない、知らない人とのやりとりは、大変な危険がともないます。使用頻度の高いゲームにおいては、実際、6年生でもフレンド申請が来た経験のある子たちがいました。

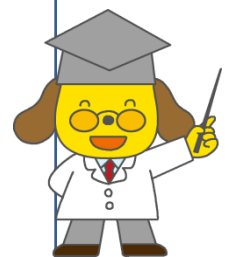
また、コミュニケーションアプリのLINE（ライン）は、伝えたい思いとは違う取り方をされる場合もあり、トラブルの原因になることもあります。

さらに、スマホの使いすぎで、生活リズムが乱れ、日常生活に支障が出てしまうことも少なくありません。ゲームで保護者に内緒で課金するトラブルも起きています。

今回わかったことは、子どもたちが「フィルタリング」についてほとんど知らないことでした。「フィルタリング」は、子どもたちをインターネットでの危険から身を守るもので、怪しいサイトに入って被害にあうことを避けるためのものです。

スマホ等によって、自分がこわい思いをしたり、大切な人を傷つけたり、悲しませたりすることがないようにするためにはどうすればいいのか考えることは必要です。決して自分には関係のないことではないのです。そのため、使用にあたっては、おうちできちんと約束ごとを決めていただくことが大切です。以下は、安全教室で確認した内容です。

- ◆自分の個人情報はもちろん、家族や友だち、知らない人の情報をのせない。
- ◆個人の特長につながるものものをせない。
- ◆情報はむやみに広めてはいけない。
- ◆インターネット上で知り合った人と勝手に会ってはいけない。
- ◆個人情報を教えたり、自分や友だちの写真を送ったりしてもいけない。
- ◆メッセージはよく見直してから送りましょう。
- ◆自分が言われたらどう思うか考えましょう。
- ◆すぐに返事がこなくても気にしないようにしましょう。
- ◆ルールやマナーを守って正しく使いましょう。
- ◆フィルタリングを上手に使いましょう。
- ◆何かあったら、必ず保護者や先生など、まわりの大人に相談しましょう。



※ご家庭での具体的な約束ごとについては、次号以降、紹介いたします。

◆防災土鍋訓練で防災意識を高めました！

1月24日（水）、5年生が防災土鍋訓練（炊き出し君事業）を行い、土鍋ご飯の炊き方や防災に関わることを学びました。講師はNPO法人みえ減災啓発支援ネットワークの方、地域の方々にも支援のためにお越しいただきました。

もし、大きな地震が起こった場合は、ライフラインが使えなくなる可能性が高くなります。この訓練は、そのようなときでも、倉庫にある土鍋・ガスコンロ・ガスボンベ・米・水を使って命をつなぐ訓練です。水加減は水5に対して米4の割合で上手に炊けることを覚えました。

また、緊急地震速報の役割を知ったり、大災害となった阪神・淡路の地震や東日本大震災のときの映像を観たり、防災クイズをしたりして、防災に関する知識が増え、子どもたちにとって、防災の大切さを学ぶ貴重な時間となりました。



◆4年生の萬古陶びな絵付けが新聞にも掲載されました！

陶びなに絵付け 四日市の児童 素焼きの萬古焼に

三月のひな祭りを前に、四日市市川原町の橋北小学校の児童が十八日、陶栄町のばんこの里会館で萬古焼の陶びなに絵付けをした。四年生三十一人が参加。高さ十センチの素焼きの陶びな二体が一人ずつに用意され、六色の釉薬で顔や着物を描いた。平田明聖君は「こだわりはおひなさまに水色の髪飾りをつけたところ。細かい線を引くのが難しかったが、楽しかった」と話した。

二月中旬までに市内の羽津、羽津北、海蔵各小の児童も絵付けを体験する。四校の作品は会館内のガス窯で焼き上げられ、三月三、四日に会館で開かれる「ばんこの里フェスタ」で展示される。四校は窯元が集まる地区にある。

絵付け体験は市内外の六十二の窯元でつくる「萬古陶磁器工業協同組合」の主催。地場産業の萬古焼に触れてもらおうと二〇一二年から毎年開催する。（大西里奈）

上記の記事は、すでにご覧になられた方もみえると思いますが、1月20日付の中日新聞北勢版に掲載されたものです（実際は縦書き）。右の写真とともに掲載されました。

当日は、NHKテレビと三重テレビでも放映されました。



◆自分から「止まる」「見る」「確かめる」！！

子どもたちが事故に巻き込まれるニュースがあとを絶ちません。残念なことに、実際、正しく自転車に乗車していても、きちんと歩道を歩いて登下校していても、突然、事故にまきこまれるケースがあります。

学校では「車の運転手は、自分自身の存在に気づいていないかもしれない」という意識を常に持つように子どもたちへの指導を行いました。外出時は「止まる」「見る」「確かめる」を意識して、子どもたちが自分の安全を守れるよう、おうちのほうでもよろしく願いいたします。